

第11回みやぎ・やまがた 地域を超えてチャレンジする女性の交流会
分科会⑦

1. コーディネーター：小野葉子
2. 参加者数：11名（山形6名、宮城2名、福島3名）
3. テーマ：自分の可能性を引き出し、生き生きと輝くために グループ7班
4. ディスカッション内容

① 自己紹介とこのテーマを選んだ理由

参加者は、理容院を始めて50年という方から、大学の1年生までの年齢層で、職種も会社役員、自営業、独立したばかりの方、乳房再建という特殊技術をもって仕事をなさっている方、セミナーインストラクター、大学生など多種多様の方々が集まりました

② 可能性を引き出すためにどうしたらいいのかでミーティング

- ・我以外はみな師として出会う、そしていいことを聞いたら徹底して真似てみる
- ・自分がこうしたいと思ったら、その願いを周りの人に話すとよい、話しているうちに、自分の中で願いが確かなものとなり、また周りからの後押しをしてくれるような助力もいただける
- ・様々な経験が自分を育ててくれた、その経験があったからこそ今の自分がある、だから失敗を恐れないでいろんなことを体験してみる
- ・何かやろうと思ったら、まず7年間はやってみる
- ・将来はロボットに仕事をとられるような時代がやってくる、だから情報を読む力・先見の明を養うことが大切
- ・大病を患い死ぬと思ったときに、生き方が変わった、本気で生きたいと思った、生かされている有難さを感じながら日々前向きに生きている
- ・～ねばならない生き方から自分が本当にしたいことをやると、エネルギーが湧いてくる
- ・試練がやってきても逃げないで引き受けてみる、そうすると道が開かれてゆく

③ 可能性を阻んでいるものに気づき、排除してゆく

自分の中にあるつぶやきを見破り、思い込み・価値観を検証して、可能性を阻んでいるもの、不合理なものを排除していくことが大切、例えば

- ・どうせ自分なんか～出来ない
- ・願ったって叶うわけがない
- ・女性は男性に従って、しゃしゃり出ない方が良い、
- ・周りからどう思われるだろうという他人の目信仰 etc.

5. 全体の感想

・普段日常の生活では会えないような方々との話は、とても楽しく、参考になったという意見がありました、また、今まで参加したことのある、このような集いは、あまり面白くなかったけれど、今日は皆さんが、本心で率直に思ったことを話してくださるので、参加してよかったと思ったそうです。

また、パネルディスカッションでも、パネラーの方々の話も分かりやすく、今1歩踏み出す勇気をいただいたそうです。